



國久 真有/ Mayu Kunihisa, *AUTOLYSIS 11-25*, 2021
キャンバスにアクリル/ Acrylic on Canvas
H53 × W53 cm/ H20.8 × W20.8 inches

國久真有

BUTTERFLY EFFECT

内覧会：2022年3月18日（金）
2022年3月19日（土） - 4月23日（土）

艸居アネックス

604-0924 京都市中京区一之船入町 375 SSS ビル 3 階

開廊時間：1:00-6:30PM 定休日：日・月

現代美術 艸居 〒605-0089 京都市東山区元町 381-2
Sokyo Gallery 381-2 Motomachi, Higashiyama-ku, Kyoto, Japan 605-0089
T: 075-746-4456 F: 075-746-4457 info@gallery-sokyo.jp www.gallery-sokyo.jp



<プレスリリース>

舛居アネックス（京都）では、國久真有「BUTTERFLY EFFECT」を開催いたします。
2020年12月に同会場で開催されたグループ展「女性と線」において、体と線をテーマに大きな存在感を示しました。弊廊では初となる本個展において、彼女が長年取り組んでいる身体と絵画が同期する独創的な作品「WIT-WIT」シリーズから近作を中心に展示いたします。

國久真有は1983年に大阪府に生まれ、現在は関西圏を中心に画家として活躍を広げています。2019年には、「第22回岡本太郎現代芸術賞展」特別賞を受賞するなど、彼女の取り組みや活動が広く知られるようになりました。

身体を軸とし腕のストロークと遠心力を用いて円弧を重ねて描いていく「WIT-WIT」シリーズの名称は、古代ローマ時代の建築家ウィトルウィウスの『建築論』の記述をもとにレオナルド・ダ・ヴィンチが1485~1490年頃に描いたドローイング『ウィトルウィウスの人体図』に由来します。四角い平面の中に作家自身の身長と同じ長さの円が積層し、何次元もの空間の奥行きが生まれます。

「弧の線」を重ねることで「光」を表現しているという國久。フリーハンドで平面の上に描き出される線は円弧となりますが、作家自身の視点からすればそれは自らの体に対し真っ直ぐに存在している線でもあります。本来ならば目に見えないはずの線が、その時の心情や、季節、環境、気温といった外的要因に応じて選択された色彩でキャンバスの上に描かれます。

展覧会のタイトルとなっている「BUTTERFLY EFFECT」（バタフライ効果）とは、カオス理論における予測困難性を表す表現の一つです。わずかな変化を与えたことでその後の状態が大きく異なってしまう現象を指し、ほんの些細なことも時に歴史を動かすことがあるかも知れない、という意味にもつながります。

今春にはSOKYO ATSUMI（東京）での個展のほか、ソウルや兵庫県西脇市での個展を予定している國久真有。それらに先立つ形で開催される本展覧会は、後に続く展覧会、作家の制作活動そのものにどのような影響をもたらすのでしょうか。画面と身体との関係性への模索から生みだされた独創的な絵画の仕事を、この機会にぜひご高覧いただけますと幸いです。

國久 真有（くにひさ まゆ）

1983年大阪府生まれ。2003年にロンドン芸術大学セントラル・セント・マーチンズ校ファウンデーション・ディプロマ・イン・アート・アンド・デザインコースを修了、2012年神戸芸術工科大学芸術工学研究科総合アート専攻修士課程修了。



主な個展には 2012 年「1day cafe presentation by kunihisamayu」神戸天昇堂（神戸・兵庫）；2018 年「wit-wit smile selection collection spring 2018」KOBE STUDIO Y3 # 405（神戸・兵庫）；2018 年「BEAT PER MINUTE」TEZUKAYAMA GALLERY（大阪）などがあり、主なグループ展には 2019 年「第 22 回岡本太郎現代芸術賞展」川崎市岡本太郎美術館（川崎・神奈川）；2019 年「AQUA」pavart rome（ローマ・イタリア）；2019 年「六甲ミーツ・アート芸術散歩 2019」（神戸・兵庫）；2020 年「+FUSION」原田の森ギャラリー（神戸・兵庫）などがある。主な受賞歴には 2007 年「神戸芸術工科大学セレンディップコンペティション」グランプリ；2017 年「UNKNOWN ASIA」審査員賞：松尾良一賞、レビューアー賞：中島麦賞、三村康仁賞；2018 年「第 22 回岡本太郎現代芸術賞」特別賞などほか多数。

是非、貴誌・貴社にてご紹介いただけますと幸甚に存じます。
掲載用、写真の貸出などご質問がございましたら下記までご連絡頂けますと幸いです。

プレス担当：元林久美子

〒605-0089 京都市東山区古門前通大和大路東入ル元町 381-2

motobayashi@gallery-sokyo.jp

Tel: 075-746-4456 Fax: 075-746-4457